

	放送大学茨城同窓会会報 ときわ	発行所 放送大学茨城同窓会(茨城学習センター内) 〒310-0056 水戸市文京 2-1-1(茨城大学内) 発行人 会長 葛貫 壮四郎
	2007.7.1 現在の同窓生会会員数86名 茨城同窓会 Web サイト http://uair-dosokairengo.net/ibaraki/	

特集 発足5周年記念事業へのお誘い

*** シルクロード・敦煌への旅 ***

放送大学で中国語を始める

茨城学習センター長 塩見 正衛
 僕が40歳台になった頃、日本から中国に行けるようになってきた。そして僕はこれまでの統計学の職場から、草地学の職場に転勤した。中国とアメリカは、僕たちにとって最も近くにある自然草原である。その人々は広大な土地で、膨大な数の家畜とともに生活している。草地学を勉強する者は、誰でも写真でしか見たことのないこの美しい草原をみたいと思う。その頃から、(英語は、下手でも話せるので)中国語が話せたらいいな、と思うようになった。しかし、なかなかチャンスがなかった。

この4月から、一大決心して、放送大学で中国語入門を勉強することにした。放送大学に勤めはじめてすでに2年がたって、やっとこのことに気がついた。10年ほど前、茨城大学にいた頃、博士課程の留学生が研究室に入ってきた。僕にとっては、これは中国語を始めるいい機会だと思ったけれども、結局、その学生は自分の勉強や生活に忙しくて、中国語を教えてくれる暇は全くなかった。また、そのころは僕自身とても忙しかった。その学生が中国に帰るとき、入れ替わりに新しい学生が中国から来たけれども、やはり本人の勉強と生活に忙しくて、僕が言い出せないままで博士になって、遠くに行ってしまった。そういうときに、やっぱりやろうと思えば自分一人で始めなければ、と決心したわけである。まだ、放送大学の学生には秘密にしているけれども、毎日5時頃から視聴覚室で変な発音の勉強をしているから、気づいている人もいると思う。

来年3月に放送大学を定年になるから、それからは中国語以外に、数学をゆっくり勉強しようと思っている。数学は、大学3年まで勉強したけれども、途中で農学に代わったので、中途退学になった。ゆっくりなら最後の1年分くらいは勉強できると思う。



客員になっている広州の大学の公園にて
(ご夫妻と知人の子供)

2年目に当たって

会長 葛貫 壮四郎



昨年の総会で会長を引き受けてから2年目を迎えます。お陰様で、会員も86名になりました。

さて、昨年のビッグイベントは、第18回生涯学習フェスティバルにおいて、茨城学習センターが中心になり、放送大学フェアが開催されたことです。我が同窓会でも、役員、会員が一致協力して事業にあたりました。

今年のビッグイベントは、東西交流の地点「シルクロードの研修旅行」を成功させること

です(同封の旅行案内パンフを参照)。是非、友人、知人と一緒に参加しませんか。

秋には、蕎麦打ち道場体験、他のサークル団体との合同行事(忘年会等)も計画中です。最新情報は、茨城同窓会のWebサイトのご案内、さらに、メールにて情報配信したいと存じます。

同窓会連合会の動きですが、各学習センターにおいて同窓会の組織化が進み、41同窓会(8440名余り)になりました。今年は、足立同窓会が連合会会長を、神奈川同窓会が副会長の担当になりました。こちらの大きなイベントは、卒業祝賀・謝恩パーティの開催で、今年もNHKホールでの卒業式が予定されています。

茨城同窓会も協力して成功裏に結びつけたいと存じます。

また、同窓会連合会のWebサイトの立上げに茨城同窓会が支援し、念願の情報発信(ブログ形式)ができるようになりました。これに伴い、茨城同窓会のWebサイトも連合会サイトの下に移行しましたので、皆様のご利用をお願い致します。

特集「シルクロードの研修旅行」

敦煌への旅

前島 寿子

中国は、訪中の度毎に変貌しています。東西交流の地点、シルクロードも又然りです。私が敦煌を最後に訪れたのは、今からかれこれ10年近く前になるでしょうか。その時ですら、最初に訪れたときと比べたら、大変な変わりようでした。初めて敦煌を訪れたときは、敦煌まで行くのには、北京から蘭州まで飛行機で飛び、蘭州から敦煌までは火車(汽車)と車を乗り継いでの旅でした。到着したときには砂埃と汗で、其れは見る影もない酷い状態で、車から降りたのを覚えています。

現在では敦煌まで飛行機が飛び、本当に近くなりました。鳴砂山へ行くための駱駝も最初のときは乗りに2、3頭の駱駝しか居りませんでした、其れも乗る客もなく砂の上に横たわり、駱駝の親方は手持ちぶさたに煙草をふかして客待ちの顔をしていたのが、次に行ったときは駱駝の数も増え、最後に行ったときは、かなりの頭数で数が数え切れないほどでした。のんびりと煙草を吸っ

ていた駱駝の親方は鳴砂山までお客を運ぶのにピストン輸送で大童でした。今度行くときはどの様な変わりようか楽しみです。

そのような周囲の変貌の中にあっても砂漠の中の莫高窟は、変わることなく4世紀中期の開鑿以来幾多の時代を経て、各時代の特色を持った仏教美術の窟を大切に護り遺して、今に伝えていきます。此の仏教の聖地、莫高窟に曾て各地から巡礼者達が集まったように、今も多くの人々が世界各地から訪れ、その素晴らしい壁画や仏像に驚きの目を見張り、感歎の声を発しています。

この度、私達が窟を見学する上で幸せなことは、莫高窟最古のものとされている交脚弥勒菩薩像の275窟が見られることです。そして又、莫高窟最盛期の窟、華やかな唐代の45窟は美しい白眉の菩薩像が見られます。

今回の同窓会主催の敦煌への旅は皆さんそれぞれ、多くの宝を心の中に刻み残す旅になると信じております。皆様、一緒に旅しませんか。詳細は、同封のパンフレットを参照下さい。

日時:9/8(土)から9/12(水)

場所:敦煌、西安

旅行代金:218,000円

締め切り:7月31日

連絡先:会長

既に申し込まれた方からのご意見

丹 協子

敦煌旅行案内を拝見しました。体験に基づくリアルな表現が異文化に興味をそそられます。貴重な文化遺跡も予習して、実のある実地体験にしたいと思いました。

今回の研修旅行には、他の学習センターの同窓会の皆様も参加される予定です。親睦を深める良い機会となるでしょう。

茨城同窓会総会第6回報告

日時:平成19年4月15日(日)

午後1時~3時

場所:放送大学茨城学習センター

3F会議室

出席者:10名

議題**第1号議案 平成18年度活動報告**

訂正事項:2006年7月7日機関誌ときわ
第7号 第8号に訂正 P2
:2006年11月9日 同総会
同窓会 2箇所 P3

異議無く承認された。

第2号議案 平成18年度会計報告

収入の部・預金戻…通帳から現金へ
戻す、会費納入が遅れている方の対策。
次回検討の事。

異議無く承認された。

第3号議案 平成19年度活動計画

- ・ホームページ作成
- ・手ひねり&バーベキュー
- ・蕎麦打ち
- ・忘年会
- ・謝恩パーティー
- ・9月入学の集い

異議無く承認された。

第4号議案 平成19年度収支予算

訂正事項:平成19年度収支予算
平成19年度収支予算案
:支出の部の項目(謝礼)を10
周年記念事業等に変更・備
考は外す事

修正して異議無く承認された。

平成18年度会計報告**収入の部**

項目	金額	備考
前年度繰越金	22,322	現金
会費	20,000	新入会4名(現金)
臨時入金	0	
補助金	0	
預金戻	60,500	
郵便通帳	143,361	含会費 3名
郵便振替	85,000	会費 17名
合計金額	331,183	

収入 331,183
支出 80,805

支出の部

項目	金額	備考
印刷代	14,808	会報
交通費	0	
事務用品	5,169	
通信費	46,000	機関誌発送等
備品費	0	
消耗費	1,153	北°-用紙等
謝礼	13,150	講師謝礼(光園)
会議費	525	御茶等
余剰金	250,378	次年へ度繰越
合計金額	331,183	

差引残高 250,378 (次年度繰越)

平成19年度収支予算**収入の部**

項目	金額	備考
前年度繰越金	250,378	(内現金 22,017)
会費	35,000	新入会7名(現金)
臨時入金	0	
補助金	0	
預金戻	0	
郵便通帳	0	
郵便振替	25,000	H15年卒 5名分
合計金額	310,378	

収入 310,378
支出 128,000

支出の部

項目	金額	備考
印刷代	20,000	会報その他
交通費	0	
事務用品	6,000	
通信費	50,000	機関誌発送等
備品費	0	
消耗費	5,000	北°-用紙等
謝礼	40,000	講師謝礼等
会議費	7,000	含総会費
余剰金	182,378	次年へ度繰越
合計金額	310,378	

差引残高 182,378 (次年度繰越)

新入会のみなさま

6名のみなさまが、新入会されました。会員一同、大変嬉しく、歓迎いたします。行事への参加もお待ちしていますので、どうぞ宜しくお願い致します。

お名前	住所	専攻
堀井 信治	水戸市	産業と技術
山下 功	ひたちなか市	自然の理解
柳澤 松雄	土浦市	発達と教育
高屋善次郎	那珂市	産業と技術
匿名	ひたちなか市	発達と教育
荒井 一	牛久市	修士卒



「夏の思い出」

産業と技術卒業
堀井 信治

今年3月、長い年月を掛けた専攻の「産業と

技術」の修了を得ました。茨城同窓会1年生です。NHKホールの授与式で沢山の方々が「学び」に挑戦しておられる姿勢に、驚きと感動を覚え、それと同時に自分自身が諦めないで、「続けて良かった」達成感のようなものを覚えました。最近、このような感動、達成感が少なくなってきたおり、久々の思い出でした。

私が、この学びに入るきっかけは、会社の研修制度の一種で人生の棚卸しをする「フレッシュライフ」というものがあり、今までの自分を省み、これからの人生設計をどうすべきかを問う内容でした。健康状態、専門知識、技術、発揮能力、家族関係、趣味、社会や地域への関わり、友人関係、資金計画・・・多岐にわたる内容のものでした。

まとめ方は、自分自身の「強み・弱み」を分析し、これからの人生設計を創るものでした。その研修の中から見えてきた自分自身は、会社を中心とした一つの縦糸のようで、家庭も社会的関わりも友人関係も、全てが会社一色でした。せめて、縦糸から扇形の広がりが出てくればと考え、計画を立案しました。しかし何をどのように具現化すれば

良いかはなかなか実行に移れませんでした。情報収集に気を配り、出会ったのが、市のボランティア活動と、放送大学で、安易な気持ちで入学したものの、仕事をしながらの継続は中々、手強い思いでした。「形の継続」は出来ても一定の「質の継続」が難しかったと思います。

しかし、全く知らなかった知識との遭遇、困難な数式を紐解いた時の心地よさが、心に残りました。

今回、この文章を書いているのはもう夏で、授与式から3ヶ月を過ぎようとしております。

思い出に残る授業は、真夏の茨城学習センターの面接授業で、外は太陽がキラキラと降りそそぐ中、教室は睡魔が襲ってもおかしくない状況でした。しかし、その授業の光景は、外の暑さにも負けにくいほどの熱気で積極的でした。授業に相互作用があり、講師の「熱意」と受講生の「学びのこころ」があり、やはり取り組む姿勢が大事！であることを学ばされました。実りある面接授業の一場面で記憶に残りました。

写真は、「夏の思い出」に歌われた尾瀬の今年の風景です。30年ぶりに昔の山の仲間12名でタイムスリップした気分です。尾瀬の自然にふれることが出来ました。



今回、同窓会に入り色々な見識をお持ちの皆様にお会いすることを楽しみにしております。常に自然体でお願いしたいとも考えております。宜しくお願い致します。

「卒業認定の感」

文化科学研究科 高屋 善次郎

先ず始めに、ブロードキャスティングメディアによる大学教育システムを構築した先達の方々に、真摯にお礼の言葉を申しあげま

す。有難うございました。何故なら長年、何時の日にか、大学教育のなんたるかを経験したいという感情を常に心の奥底に持っていました。

ある時、通信教育のアドバイザーを目にした時、電話で直ぐに申し込んだ事、今もはっきりと思い出される。自分の年齢は問題ではなかった、絶好の機会に巡り会えた事への興奮と喜びが、その時の状況も顧みず猪突した自分の性格に、妻の苦笑いの笑顔も又有り難く思い出される。

次に妻の陰日向のない協力と、仕事の分担のやり繰りには、何をもってお礼とすべきか思い至らない。厳しい大学教育であることの認識は、自明の理として覚悟する所ではあったが、レポートそして試験日の近づく度に、ある種迷惑を掛けていた事も又、認識を新たにするものです。

過ぎ去った日々を美化するものではないが、唯唯、皆さんに遅れまいを基本理念とし、競争する為の勉学ではないと、何時も自分に言い聞かせてはいたが、やはりそれなりの計画と進捗度は自分を律する為には、必要条件であるとの信念は最後まで変わりはない。

しかし自分の能力に鑑みて、想定、延長年限も持ちあわせていた逃げ道もあったことも事実ではある。学位修得がデストネーションではない、単なる通過点等と格好つける気持ちは持ち合わせていないが、次の段階に進みたくなる自分の性格も仕方がないと言える程、この教育システムは自分の性格に合っている。

積年の劣等意識を心の糧として、「あすなる」と「乗り換え」の理論で気軽に楽天的に「勉学道」に打ち込めるこの教育システムは、生涯教育としての位置づけは基より、自分の秘めたる生きがいとしての高揚感は計りしれないものを感じる。

「仰げば尊し」の歌の時、茨城学習センターの所長先生やスタッフの皆さんの笑顔が感動で何度もこぼれ落ち、それを見ていた妻の目も潤んでいた。いずれにしても、初めて見る有名な施設でのイベントに参加できて、「お父さん、良かったね。」の妻の言葉が心に沁みた。この日は自分史の中で光輝く一日になった。皆さん ありがとう。

We hope,lets join to The University of the Air soon. Thank you.

お願い事項

1)同窓会会費納入のお願い

同窓会発足当時の会員皆様方に、会費の納入のお願いを送付しておりますが、まだ、未納の方は、お手続き下さるようお願い申し上げます。会費は、5年分で5,000円の一括納入になっております。もし、振り込み用紙を失くされた方は、下記郵便口座まで振り込みいただくようお願いします。

- ・ 口座記号-口座番号:
00160-1- 355969
- ・ 加入者名:放送大学 茨城同窓会
- ・ 金額:5000円

2)メールアドレス更新のお願い

茨城同窓会用のメーリングリストを運用中ですが、未配信アドレスが多くあります。メールアドレスを変更された方は、会長宛までお知らせ下さい(s-kuzu@doctor.email.ne.jp)。なお、メールアドレスは、ご自身でも変更可能です。

平成19年度第2学期学生募集

放送大学に興味をお持ちの友人・知人の方をご紹介します。

出願期間:平成19年6月15日から
8月15日(水)必着

連絡先:茨城学習センターまで
〒310-0056 水戸市文京 2-1-1
TEL: 029-228-0683 FAX 029-228-0685

編集後記

今年、茨城学習センターは、開設10周年を迎えます。同窓会は、丁度その半分の5周年です。これまでも、皆様のご協力、ご支援を受けての活動でしたが、これから先も、おつき合い下さい。皆様の投稿をお待ちしております。

今回は、新会員の堀井様と高屋様のお二人からご寄稿いただきました。ありがとうございました。(猪滕・大川・高木)

放送大学茨城同窓会 第1回訪中旅行 砂漠の大画廊・敦煌莫高窟を満喫する旅 5日間

2007年9月8日(土)～9月12日(水)

ご旅行代金：¥218,000 (お客様15名様以上参加の場合で2名様一室利用のお一人様の代金)
お一人部屋利用追加代金：¥26,000 募集締め切りは7月31日(火)までとなります

主催：放送大学茨城同窓会
企画手配：㈱キャラバントラベル(国土交通大臣旅行業1種、第1341号)
担当：竹内一梓

第1日目 9月8日(土) 成田(10:55発)・上海(12:45着/15:50発)・敦煌(21:25着)

午前：中国東方航空272便にて上海へ向います。

午後：上海着後、航空機を乗り換えて甘肅省・敦煌へ向います。

敦煌：敦煌賓館(4)または太陽大酒店(4)泊

第2日目 9月9日(日) 敦煌滞在

終日：莫高窟の観光

砂漠の大画廊と賞される**莫高窟**の見学。(午前、午後と二回入場)

有名な**藏經堂**と呼ばれる第16、17窟などの一般開放窟に加えて、**特別有料窟(第45窟、第57窟、第275窟)**を見学します。

夕刻：鳴沙山(月牙泉)へご案内致します。(ご希望の方は駱駝にお乗り頂きます。)

敦煌：敦煌賓館または太陽大酒店 泊

第3日目 9月10日(月) 敦煌滞在

午前：敦煌郊外の観光地へご案内致します。

漢代の関所のひとつで「春風も渡らず玉門関」で有名な**玉門関**、二千年の風雨に耐えた**漢代長城**へご案内致します。また、かつての食料倉庫といわれる**河倉城跡**を見学します。

午後：詩人・王維が「西のかた陽関出づれば故人無からん」と詠った**陽関**、敦煌周辺から出土した文物を数多く展示している**敦煌博物館**の観光。

敦煌：敦煌賓館または太陽大酒店 泊

第4日目 9月11日(火) 敦煌(10:55発)・西安(12:55着)

午前：航空機にて陝西省・西安へ向います。

午後：陝西省から出土した文物を数多く展示している**陝西省歴史博物館**の見学します。

夕食は老舗レストラン**徳發長**にて**西安名物餃子宴**をお楽しみ下さい。

西安：皇城花園酒店(4)または唐華賓館(4)泊

第5日目 9月12日(水) 西安(08:40発)・上海・成田(16:00着)

午前：中国東方航空521便にて上海を経由して成田へ向います。

夕刻：成田空港着。入国審査、税関検査後解散。

旅行条件

食事：朝4回、昼3回、夕3回

発着地：成田空港 最少催行人員：15名

添乗員：成田より同行します。

利用予定航空会社：中国東方航空

中国空港税・出国税(日本円約3,100円相当)をご旅行代金に含んでおります。

ご注意(ご旅行代金に含まれないものなど)

空港施設使用料：成田空港2,040円

燃油サーチャージ：9,720円

(6月5日現在の料金となっております。今後、原油価格の変動などで上記料金が変動する場合がございます)

任意海外旅行傷害保険料

日本国内の交通費及び宿泊代

パスポート有効残存期間は入国時15日間以上必要

ご自宅と空港間の往復、お荷物の託送サービスを致します。(お一人様1個)



旅行参加申込書

放送大学茨城同窓会 第1回訪中旅行

砂漠の大画廊・敦煌莫高窟を満喫する旅 5日間

出発日 2007年9月8日 (土)

フリガナ		生年月日	性別
氏名		年 月 日	男・女
フリガナ			
住所	〒 —		
電話番号			
旅券番号	(発行年月日 年 月 日)		
渡航中の連絡先	氏名: (続柄:)		
	電話No:		
一人部屋希望	有 無		
同室希望者	氏名:		
海外旅行傷害保険申し込み希望	有 無		
その他ご希望			

申し込み先 FAX 029-352-9495

TEL 029-273-3341

e-mail: s-kuzu@doctor.email.ne.jp

〒312-0011茨城県ひたちなか市中根3600-150

葛貫 壮四郎